



ハートフルなんぶ

2025. 4月号 vol. 313



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

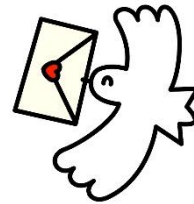
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

4月のテーマ 「学ぶ」



- 『水族館飼育係だけが見られる世界』 下村 稔／著 ナツメ社 <480シ>
- 『認知症ってそもそも何ですか?』 朝田 隆／著 Gakken <493ア>
- 『万年筆のインク見本帖』 佐久間 和子／著 玄光社 <589サ>
- 『東京藝大で教わる西洋美術の謎とき』 佐藤 直樹／著 世界文化社 <702サ>
- 『一気読み西洋美術史』 ナカムラ クニオ／著 日経 BP <702ナ>
- 『東京藝大で教わるはじめての美学』 川瀬 智之／著 世界文化社 <720カ>
- 『図説日本の辞書 100 冊』 沖森 卓也／編 武蔵野書院 <801ス>
- 『一度読んだら絶対に忘れない国語の教科書』 辻 孝宗／著 SBクリエイティブ <810ツ>
- 『パンダを飼ったらいくらかかる?』 北澤 功／著 日経ナショナルジオグラフィック <480キ>
- 『k.m.p.の、石コロ、ぐるぐる。』 k.m.p.／著ブックデザイン 東京書籍 <459ケ>
- 『え、うちの子って、栄養失調だったの?』 梶 尚志／著 みらいパブリッシング <493カ>
- 『天気を変えた戦国・近世の城』 久保井 朝美／著 PHP エディターズ・グループ <521ク>

4月の 新刊案内



- 『A DAY IN YOUR LIFE』 小路 幸也／著 徳間書店 <Fシ>
- 『口外禁止』 下村 敦史／著 実業之日本社 <Fシ>
- 『月とアマリリス』 町田 そのこ／著 小学館 <Fマ>
- 『逃亡者は北へ向かう』 柚月 裕子／著 新潮社 <Fユ>
- 『リペアラー』 大沢 在昌／著 KADOKAWA <Fオ>
- 『人生劇場』 桜木 紫乃／著 徳間書店 <Fサ>
- 『初瀬屋の客』 西條 奈加／著 文藝春秋 <Fサ>
- 『ミナミの春』 遠田 潤子／著 文藝春秋 <Fト>
- 『おぼろ迷宮』 月村 了衛／著 KADOKAWA <Fツ>
- 『ディア・オールド・ニュータウン』 小野寺 史宜／著 KADOKAWA <Fオ>
- 『その場で言語化できるメモ』 佐野 雅代／著 サンマーク出版 <002サ>
- 『大軍都東京』 黒田 涼／著 笠間書院 <213ク>
- 『老いた親の様子に「アレ?」と思ったら』 工藤 広伸／著 PHP 研究所 <369ク>
- 『文字刺しゅう大全集』 アップルミンツ <594モ>
- 『フライパンひとつで作るゆるごちそう』 長谷川 あかり／著 幻冬舎 <596ハ>
- 『流行歌で振り返る昭和 100 年』 合田 道人／著 笠間書院 <767コ>
- 『にゃんこ関西弁辞典』 西川 清史／著 飛鳥新社 <818ニ>
- 『若杉ばあちゃんの野草料理』 若杉 友子／著 Parco 出版 <596ワ>
- 『今日は甘いものを食べたい日』 三國 清三／著 KADOKAWA <596ミ>
- 『入社 1 年目の語彙カノート』 齋藤 孝／著 SBクリエイティブ <814サ>
- 『はざまのわたし』 深沢 潮／著 集英社インターナショナル <914. 6フ>





「虎に翼」と学ぶ場を作った松代人

寄稿：ひよこ豆

昨年は NHK の朝のドラマで「虎に翼」を放映しました。日本初の女性弁護士となった三淵嘉子（みぶちよしこ）をモデルに、その生涯をドラマ化しました。

三淵（旧姓は武藤）は東京の女学校を卒業すると、進歩的な父の勧めもあって明治大学専門部の女子部で法律を学びました。この女子部とは日本で初めて設立された女性のための法律教育機関でした。

実はこの女子部を設立したのは、松代出身の法律家である横田秀雄だったのです。まだ女性には法律家になる資格制度が無かった時代でしたが、1929年に明治大学の学長だった横田秀雄がほかの教師とともに「女子のための法律を学ぶ場を作ろう」と考えて、大学構内に女子部を設立したのでした。その後1936年に女性も弁護士資格が得られるようになり、女子部で学んだ3人が司法科試験に合格して日本初の女性弁護士になったのでした。

横田秀雄は大審院院長（今の最高裁判所長官）としていくつもの名判決を下して有名でしたが、この女子部の創設者であることが今までほとんど知られていませんでした。

松代出身で活躍した法律家ではもう一人、井上操がいました。江戸時代後期の1847年に生まれた井上は明治になって上京し、司法省の明法寮という法律家養成機関で法律を学びました。そこを卒業すると司法省の職員となり、フランス語の法律書を翻訳したり法律学校の講師をしました。

明治19年に井上は大阪に赴任し裁判長となりました。当時は法律学校が東京にしかなかったので、関西にも法律を教える学校がほしいという要望があり、井上のほか大阪在勤の検事や裁判官が集まって関西法律学校を設立させました。井上は裁判官の仕事をしてながら初めの数年は無給で学生に法律の講義をしていました。この学校が大正11年に大学に昇格して関西大学となりました。

このように松代出身の法律家は、法律を学ぶ人のためにも尽くしたのでした。

参考文献

『華やぐ女たち』 佐賀千恵美／著 早稲田経営出版 《281サ》 ※長野図書館所蔵
『松代学校人物伝 上巻』 松代小学校／編 松代小学校 《N280マ》 ※館内閲覧



南部図書館 開館カレンダー



開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です

2025年4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2025年5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31